

様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の 人権への望ましい配慮に関する研究

国立病院機構長崎医療センター/長崎県病院企業団
八橋 弘

目的： 偏見や差別の解消のために、様々な場における人権尊重の推進方策やその有効性を検証する。特に、肝炎患者と関わることが多い医療機関等における啓発や、肝炎患者等に対する適切な配慮について学ぶことができる資料について検討する。

研究組織

【研究代表者】

八橋 弘（国立病院機構長崎医療センター/長崎県病院企業団）

【研究分担者】

四柳 宏（東京大学医科学研究所・先端医療研究センター）

米澤 敦子（東京肝臓友の会）

中島 康之（全国B型肝炎訴訟大阪弁護団）

梁井 朱美（全国B型肝炎訴訟九州原告団）

及川 綾子（薬害肝炎全国原告団）

浅井 文和（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学,元朝日新聞編集委員）

磯田 広史（佐賀大学医学部附属病院・肝疾患センター）

肝炎ウイルス感染者への偏見、差別、人権に関する研究班の経緯

- 1.平成23年度から3年間、龍岡資晃元学習院教授による「**肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究**」班が組織され研究が実施された。
- 2.平成28年には指針の改定が行われ、肝炎患者等に対する不当な差別や、それに伴う肝炎患者等の精神的な負担が生じることのないよう、正しい知識を身に付け、適切な対応に努めることなどが明記された。
- 3.平成29年度から「**肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究**」班が、令和2年度から「**ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究**」班が、令和5年度から「**様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究**」班が組織された。

『肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究』班

『ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究』班

『様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究』班

様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究

研究計画、活動計画

① 研究班ホームページの充実

ウイルス肝炎の理解度クイズと偏見差別を防止するための事例/解説を内容とする研究班ホームページ（HP）の充実

初年度

HPの内容の更新[#]

2年度

HPの普及[#]

3年度

分析[#]、論文化

[#]データレイクシステム：解析委託業者

② 公開シンポジウム、肝炎講義、肝炎授業の開催

偏見・差別の地域差を考慮した上での公開シンポジウム、肝炎講義、肝炎授業の開催

全国3か所で実施

全国3か所で実施

全国3か所で実施

③ 認知度/理解度の調査、調査研究

医療従事者（非専門医/歯科医を含む）を対象としたウイルス肝炎の認知度/理解度調査、偏見/人権に関する調査研究

研究計画書の作成と倫理委員会の承認

調査

分析、報告、論文化

④ 啓発教材の作成

学校や施設などでの差別偏見の解消や防止を目指した啓発教材（動画）の作成

動画のコンセプトの協議と作成

様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究

目的： 偏見や差別の解消のために、様々な場における人権尊重の推進方策やその有効性を検証する。特に、肝炎患者と関わることが多い医療機関等における啓発や、肝炎患者等に対する適切な配慮について学ぶことができる資料について検討する。

方法：

① 研究班ホームページの充実	③ 認知度/理解度の調査
② 公開シンポジウム、肝炎講義、肝炎授業の開催	④ 啓発教材の作成

期待される成果：

1. 医療従事者と肝炎患者等による、肝炎患者等の人権の尊重について考えるシンポジウムやグループワークを実施する。②
2. 様々な生活の場におけるウイルス性肝炎の認知度や理解度等を調査し、偏見差別を防止するための教育的資料（HP・SNSを含む）を作成する。① ② ④
3. 偏見差別を解消する資料について、その効果的な普及方法を構築し、効果を検証する。① ② ④
4. 医療従事者（非肝臓専門医や歯科医師も含む）等をターゲットとしたウイルス性肝炎の認知度や理解度等を調査する。③
5. 様々な場面に対応する、肝炎患者の人権への配慮について考える資料の作成しその普及をはかる。① ② ④
6. 肝炎患者の偏見、差別による被害防止対策の普及方法を開発する。① ② ④
7. 偏見、差別を防止するための教育的資料を用いた効果的な学習方法を提示する。② ④
8. 偏見差別を防止するための事例集・解説集について効果的な普及方法を提示する。① ② ④
9. 偏見差別の地域差について検証し、既存の事例集・解説集に加え、偏見・差別の地域差を踏まえた防止策を提示する。① ② ④
10. エビデンスレベル（評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等）を示す資料（研究班が作成した英文ないし和文の原著論文、研究班で収集した論文集等）を提示する。③



研究班ホームページ トップページ（1）

ウイルス肝炎、ウイルス肝炎患者について
理解を深めましょう

厚生労働行政推進調査事業費（肝炎等克服政策研究事業）

閲覧回数
148,095

ウイルス肝炎の理解を深めましょう
一問一答で、
ウイルス肝炎についてのあなたの理解度をチェックできる！

理解度クイズはこちら

ひとりで悩まないで！
患者さんやご家族から寄せられた相談と専門家からの回答を紹介します。

偏見差別相談事例はこちら

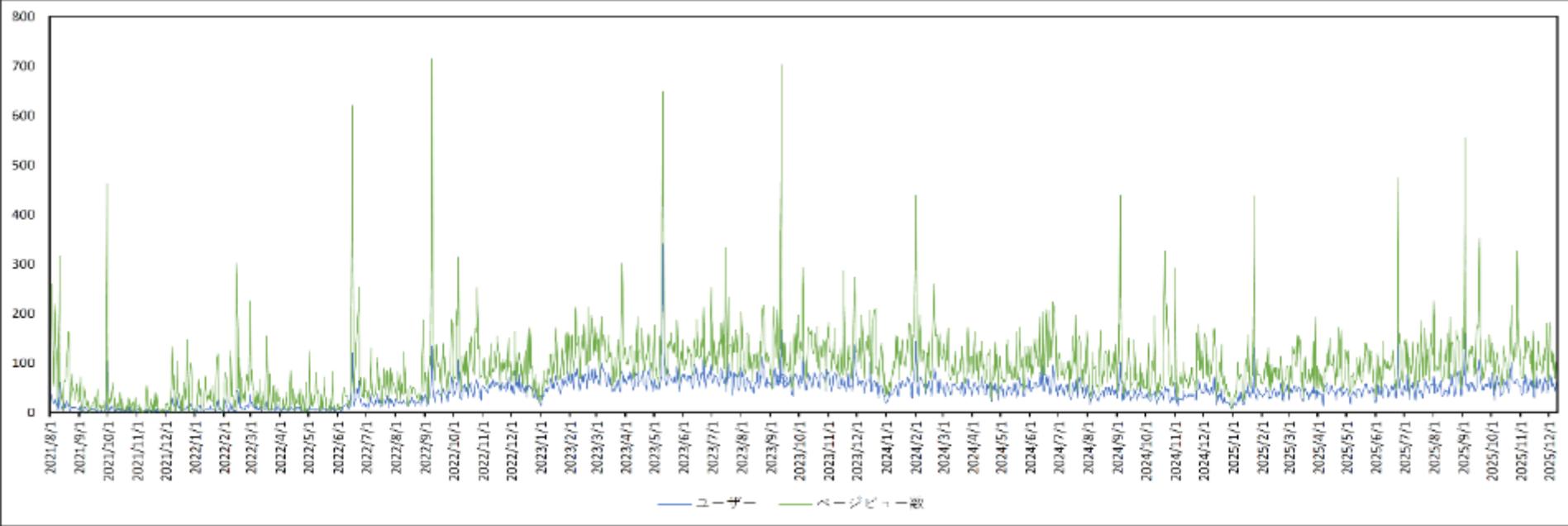
研究班紹介
理解度クイズ
偏見差別相談事例
肝炎コラム
お問い合わせ

ホームページへのアクセス状況 (1)

HP開設から現在まで (2021年8月2日-2025年12月08日) の総表示回数

総表示回数 145,565回
ユーザー数 66,563人

2.2021年8月2日～2025年12月8日までのアクセス状況



ホームページへのアクセス状況 (2)

2025年4月1日-2025年12月08日：表示回数27,216回、ユーザ数12,849人

検索クエリ	閲覧数上位10件	閲覧数	検索回数	閲覧率	掲載順位
b型肝炎	結婚 反対	123	507	24.26%	2.32
c型肝炎	完治後 うつる	79	899	8.79%	1.58
c型肝炎	完治後 再発	65	778	8.35%	1.61
b型肝炎	ワクチン 効果	55	395	13.92%	4.65
c型肝炎	再発	47	516	9.11%	1.34
b型肝炎	保育園	44	200	22.00%	3.46
b型肝炎	ワクチン 効果	41	524	7.82%	4.48
b型肝炎	保育園 集団感染	39	289	13.49%	4.39
b型肝炎	うつる 介護	39	1168	3.34%	4.83
b型肝炎	就職 差別	38	220	17.27%	1.50

閲覧数 表示されたリンクが実際にクリックされた回数
検索回数 リンクが検索結果に表示された回数
閲覧率 (CTR) $\text{閲覧数} \div \text{検索回数} \times 100$ (どれだけの人がクリックしたかの割合)
掲載順位 検索結果ページでのリンクの平均掲載順位 (1位、2位など)

ホームページへのアクセス状況 (3)

2024年4月1日～2025年3月31日:表示回数33,742回、ユーザ数15,040人

検索クエリ	閲覧数上位10件	閲覧数	検索回数	閲覧率
b型肝炎	結婚 反対	195	913	21.36%
c型肝炎	完治後 再発	184	2115	8.70%
b型肝炎	看護師になれない	139	801	17.35%
c型肝炎	完治後 うつる	124	1712	7.24%
b型肝炎	結婚	124	607	20.43%
c型肝炎	感染経路	106	4493	2.36%
b型肝炎	介護 入浴	73	901	8.10%
c型肝炎		56	3418	1.64%
b型肝炎	入浴 順番	49	1271	3.86%
b型肝炎	職場 報告	47	682	6.89%

ホームページ公開 差別偏見相談事例（1）

1. ウイルス排除後も歯科で治療を断られる。定期健診とか歯石除去も嫌がられる。
2. 看護学校で看護師を目指している。実習の病院が受け入れを拒否する可能性もあると学校に言われた。B型肝炎だと看護師になれないのか。
3. 会社でこれまで肝炎ウイルス検査をしなかったのに、今年から始めると聞き悩んでいる。受けなくても大丈夫か？何か言われそうで不安。
4. 以前から施設に入居している子供がC型肝炎で、現在ウイルス排除に成功して2年経過した。治療前から入浴も食器も別にされていたが、今もその対応が続いている。施設側は、「再発の可能性があるから」と言うが、その後も陰性が続いており、肝機能も正常値。この対応がいつまで続くのか疑問。
5. 「どんな小さな傷があるかわからないので、お風呂は一番最後に入ってもらおう」と言われ傷つき、その後デイサービスを受けるのをやめた。
6. 出産後、子供に母子感染防止のためのワクチンを打ったが、陽性になってしまった。B型肝炎のことも伝えた上で保育園入園が内定したが、その後自宅待機を命ぜられた。
7. これから介護の仕事をしようと思っているが、施設にB型肝炎のことは伝えるべきか。
8. 過去に就職時の健康診断時にB型肝炎の抗原陽性と伝えると抗原陽性の人は採用できないと言われ不採用になった。今回、別の就職先が決まったが、健康診断を受けるように言われている。また不採用になるのか不安である。
9. B型肝炎のワクチンを打てば、感染する心配はないのか。
10. 家族が、献血でB型肝炎の抗原陽性とわかり、今後のことが心配。
11. つきあっている人と結婚を考えているが、B型肝炎ということは伝えていない。伝えなければと思っているが、言い出せない。どうしたらよいのか。

ホームページ公開 差別偏見相談事例 (2)

12. 3年前、ネイルサロンで施術（ネイル）をしていただいている人にB型肝炎であることを話しました。その後も普通に施術（ネイル）を行ってもらっていました。ある日突然、施術を行ってもらっている人から「出入り禁止」とのメールが届きました。その理由を聞くと「ネイル協会から感染対策のため、今後の施術を断ってください。」との助言があったそうです。3年前にB型肝炎であることを話したことが原因かと思います。とてもショックでした。主治医にも、ネイルサロンでの出入り禁止の件を相談したら、それは差別・偏見だねと言われました。

13. 治療を受けHCVウイルスを排除したあとに、白内障の術前検査でHCV抗体が陽性と出てしまった。再検査の結果、抗体価60なのでC型肝炎に感染していると言われた。看護師に嫌な目つきで見られるし、とても不愉快な思いをした。再発？もう大ショック。どうしてこんなことになったのか。

14. 介護施設に入居するため問い合わせたら、4か所で肝炎の方は受け入れられないと言われた。核酸アナログを何年も服用し、HBV DNA検出せず※の状態、医師にも感染のリスクはないと言われている。肝炎への理解が進んでいないことに呆れた（※HBS抗原陽性でHBV DNA検出せず）

15. 歯科でC型肝炎と伝えたと、仮詰めだけして、次の予約をずっと先にさせられた。来てほしくないんだなと思い、大学病院で診てもらうことにした。個室で医師は防護服を着ての診察で、それは仕方ないと思っていたが、SVRを伝えた後も状況はまったく変わらなかった。

16. 会社の検診でB型肝炎とわかり、核酸アナログ製剤を服用している。専門医から「感染に気を付けるように」と念を押されて以来、人前に出られなくなった。

17. B型肝炎キャリアの女性との結婚を考えている。自分がワクチンを打って抗体がつけば、感染しないか？ワクチンを打てば子供も90%以上の確率で感染予防できるとネットにあったが、本当か？

18. 介護施設に入居の問い合わせをしたら、B型肝炎のため断られた。核酸アナログを服用し、ウイルスは検出せずの状態、感染のリスクはないと言われている。入居できるところを探している。

ホームページ公開 差別偏見相談事例（3）

2026.01.14公開

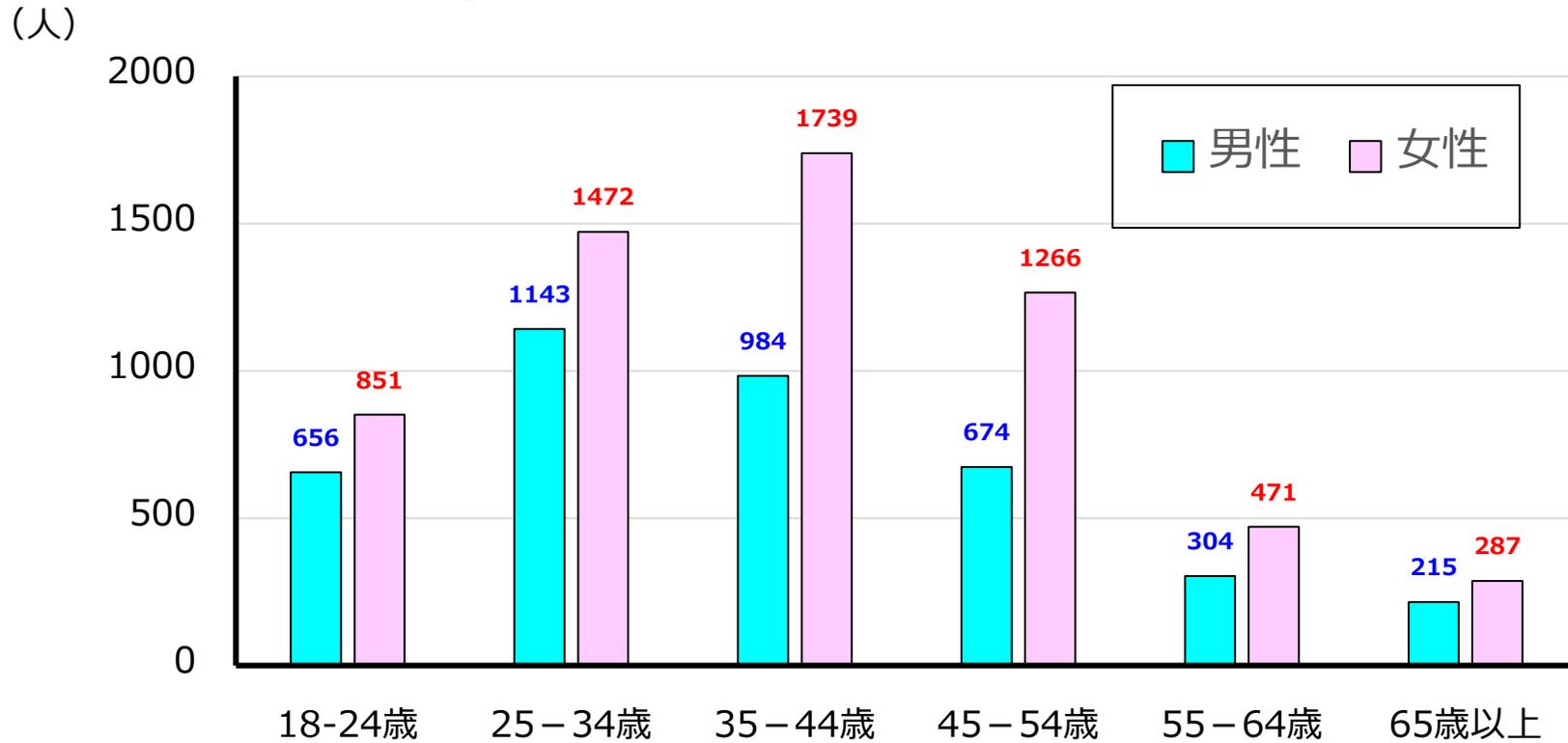
19.C型肝炎の治療は完了しているにもかかわらず、毎年の大腸内視鏡検査のたびに肝炎のウイルス検査（HCV RNA検査など）を繰り返し受けており、その分の費用がかかっている。過去の検査結果（HCV抗体陽性）や治療の状況を毎年伝えても、今年も「決まりだから」の一言で検査を求められている。治療済みで毎年結果も出ているのに「決まりだから」という理由で費用のかかる検査は本当に必要なのか？

20.B型肝炎と診断されました。肝臓の数値が悪いから、核酸アナログという治療薬を服用するように言われました。とりあえずしばらく飲めば数値は落ち着くと言われたので、少し安心しましたが、『必ず忘れずに飲んで、勝手に止めると悪化する』と言われました。次回の診察は3か月後です。診察の最後に『人に感染させないように気をつけてね』と言われた言葉が頭から離れなません。感染？私の病気は人にうつす病気？今まで通りの生活をして本当に大丈夫なのかな。現場の仕事で怪我することもあるし、もし周りの人にうつしちゃったらどうしよう。感染について何も詳しい説明がなかったので不安でいっぱいです。

21.先生から、検査の結果、「B型肝炎にかかっていた」と言われました。『ウイルスはもういないし、治ってるから大丈夫』って言われましたが、頭が真っ白になりました。どうして私がB型肝炎？いつ、どこで感染したのか、全然わからない。こんなこと、家族にも友人にも誰にも聞けないし相談できない。今、がんの治療中なのに、まさか自分がB型肝炎だったなんて、がんのことよりもショックが大きいです。もうどうでもいい、死んでしまいたいくらいです。

ホームページ公開 差別偏見相談 (4)

相談事例にアクセスしたユーザーの年齢と性の分布
(年齢と性別が判明した10,062例)



	18-24歳	25-34歳	35-44歳	45-54歳	55-64歳	65歳以上	計
男性	656	1143	984	674	304	215	3976
女性	851	1472	1739	1266	471	287	6086
計	1507	2615	2723	1940	775	502	10062

公開シンポジウムのポスター、2018-2020年(1)

肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム

2018年 **6月3日** 13:00-15:00 (開催12:30)

〒812-8585 福岡県福岡市東区 福岡県立中央病院 大会ホール

定員 200名

入場料 無料

主催 福岡県立中央病院 大会事務局

協賛 福岡県立中央病院 大会事務局

後援 福岡県立中央病院 大会事務局

福岡

肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム

2018年 **8月19日** 13:00-15:00 (開催12:30)

〒060-0808 北海道札幌市中央区南一条西五丁目 札幌医科大学 大会ホール

定員 200名

入場料 無料

主催 札幌医科大学 大会事務局

協賛 札幌医科大学 大会事務局

後援 札幌医科大学 大会事務局

札幌

肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム

2018年 **10月7日** 13:00-15:00 (開催12:30)

〒565-0874 大阪府大阪市北区 大塚 10F Conference Room 1001-1002

定員 200名

入場料 無料

主催 大阪府立中央病院 大会事務局

協賛 大阪府立中央病院 大会事務局

後援 大阪府立中央病院 大会事務局

大阪

肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム

2018年 **12月16日** 13:00-15:00 (開催12:30)

〒100-8535 東京都千代田区千代田 厚生労働省 大会ホール

定員 200名

入場料 無料

主催 厚生労働省 大会事務局

協賛 厚生労働省 大会事務局

後援 厚生労働省 大会事務局

東京

肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム

2018年 **5月19日** 13:00-15:00 (開催12:30)

〒901-8580 沖縄県那覇市 那覇市立中央病院 大会ホール

定員 200名

入場料 無料

主催 那覇市立中央病院 大会事務局

協賛 那覇市立中央病院 大会事務局

後援 那覇市立中央病院 大会事務局

那覇

肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム

2018年 **6月16日** 13:00-15:00 (開催12:30)

〒730-8585 広島県広島市東区 広島県立中央病院 大会ホール

定員 200名

入場料 無料

主催 広島県立中央病院 大会事務局

協賛 広島県立中央病院 大会事務局

後援 広島県立中央病院 大会事務局

広島

肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム

2018年 **8月25日** 13:00-15:00 (開催12:30)

〒980-8585 宮城県仙台市青葉区 仙台市立中央病院 大会ホール

定員 200名

入場料 無料

主催 仙台市立中央病院 大会事務局

協賛 仙台市立中央病院 大会事務局

後援 仙台市立中央病院 大会事務局

仙台

肝炎患者のおかれた状況について考える 公開シンポジウム

2019年 **2月16日** 14:00-15:00 (開催13:30)

〒850-8585 佐賀県佐賀市 佐賀県立中央病院 大会ホール

定員 200名

入場料 無料

主催 佐賀県立中央病院 大会事務局

協賛 佐賀県立中央病院 大会事務局

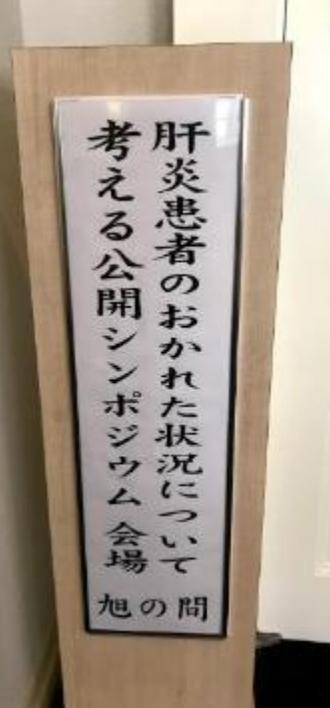
後援 佐賀県立中央病院 大会事務局

佐賀

『肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究』班
『ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究』班



2018年6月3日 福岡



2018年6月3日 福岡



2019年6月16日 広島



2019年8月25日 仙台



2019年5月19日 那覇

公開シンポジウムと模擬授業のポスター、2022-24年（2）

肝炎患者のおかれた状況について考える
公開シンポジウム

2022 3月6日
13:00～15:30 (開場12:30)

会場：SOLA HALL 101

東京

肝炎患者のおかれた状況について考える
公開シンポジウム
in NAGOYA

2022 8月20日
13:00～15:30 (開場12:30)

会場：TKP名古屋駅前カンファレンスセンター 直一ホールA

名古屋

肝炎患者のおかれた状況について考える
公開シンポジウム - 金沢 KANAZAWA -

2022 12.10 日
13:00-15:30 (開場12:30)

会場：TKPガーデンシティPREMIUM金沢駅西口 南-1L2C

金沢

「感染症患者に対する差別偏見、人権」
をテーマとした模擬授業

2023 3月11日 土
13:00～15:00 (開場12:30)

会場：日本橋ホール ホール1+2

東京

肝炎患者のおかれた状況について考える
公開シンポジウム in NAGANO

2023 8.26 土
13:00-15:30 (開場12:30)

会場：松本市中央公民館 Mウイング 3F 会議室3-1,3-2

松本

肝炎患者のおかれた状況について考える
公開シンポジウム

2023 12.10 日
13:00-15:30 (開場12:30)

会場：にぎわい交流館AU(あう) 新館2F+2

秋田

肝炎患者のおかれた状況について考える
ワークショップ

2024 2.25 日
11:30-14:30 (開場11:00)

会場：東京カンファレンスセンター 第一ホールA

東京

『ソーシャルメディア等を活用した肝炎ウイルス感染者の偏見差別の解消を目指した研究』班
『様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究』班

公開シンポジウムと肝炎授業WSのポスター、2024-25年（3）

2024.08.24.浜松市

2024.12.14.松山市

2025.03.09.東京
2025.08.24.東京

2025.12.06.下関市

肝炎授業

公開シンポジウム 2025.12.06.下関市





公開シンポジウム

2025.12.06.下関市

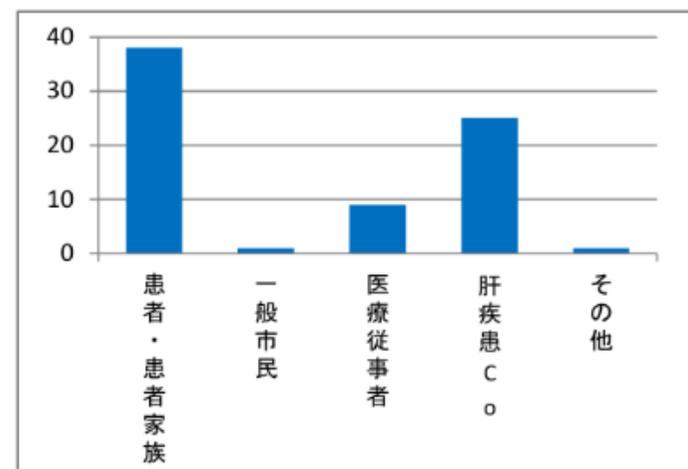
参加者数 75名

厚生労働省 厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
「様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究」
『公開シンポジウム』アンケート集計

日時：2025年12月6日（土）9:30～12:00
会場：海峡メッセ下関 海峡ホール
回答数：50名

1. ご自身について ※複数回答

・ 患者・患者家族	38
・ 一般市民	1
・ 医療従事者	9
・ 肝疾患Co	25
・ その他	1
・ 無回答	1
合計	75



公開シンポジウム参加者の感想



●毎回、興味深く参加させて頂いております。新たな事案の紹介、それに対する貴重な医師からの意見、非常に参考になります。自分も医療に携わる者として職場で心掛ける事の一つとして、知識を深めたいと思います。

●いつも沢山の事例の紹介、ありがとうございます。今回は、バラエティーにとんだ方が参加されており、いつもよりも、いろいろな角度からの話を聞くことができたので、有意義な時間でした。ただ、時間がなかったので、もっともっと医療者である肝炎コーディネーターの方などの話をききたかったです。

●答えがない問題を扱っていることから、より多くの方と議論し、考えることは本当に必要だと思います。今後たくさんの議論をしていけたらと思いました。

●私自身、自分がB型肝炎は知っていましたが、どうしたらいいのか何もわからず、誰にも相談しないで今まで生活をしていました。今回シンポジウムに参加して6件の事例に対しての先生方のそれぞれの話を聞き、大変勉強になりました。参加して良かったです。

●今から数年後年、介護施設に入所をする時に、B型肝炎と素直に伝えることで入所を断られるのではないかと不安があります。様々なケースをご紹介いただき、差別、偏見に対して具体的におこなうべき活動のヒントとなりました。ありがとうございました。

●寄せられた事例を拝見して、とても辛い気持ちになりました。保育園入園拒否の問題、このような小さな子が将来に渡り、受ける差別に思いを寄せた時、とても辛く悲しく思いました。これから高齢者も介護施設入居時にもおこりえる事例と思いました。

●とても勉強になりました。またの活動を期待しています。肝炎患者についての問題点が、あらゆる方向から考える必要があると思いました。この様なシンポジウムに参加しなければ知ることがなかったでしょう。私自身がB型肝炎の感染者ですが、この病気と長くつき合っていることで、忘れていたことが思い出されました。患者、医者立場での考え方について大変参考になりました。参加して良かったです。

●肝炎患者におかれた状況についてこのテーマのシンポジウムが一番心の腑に落ちます。このテーマを少し簡便にして、全国の患者さん達に伝われば一番良いと思いました。

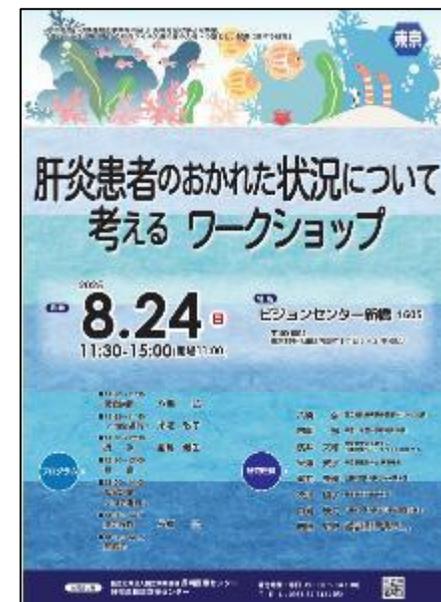
【肝炎患者のおかれた状況について考える】ワークショップ 〈テーマ：中学生向け肝炎授業について〉 を令和7年8月24日（日）に東京で開催 指導案と授業：元小学校教員：副島健生



3 本時の学習												
タイトル：「感染症 —あなたはどうする—」												
ねらい：感染症についての理解を深め、感染症に対する差別や偏見をなくすには正しい理解と判断力が大切なことに気づき、行動につなげようとする。												
対象：中学3年												
資料名：「考えよう感染症—家族の絆で繋ぐ未来—」 「考えよう感染症—一本道のフインプレー—」(出典：様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究) https://kanen-soudan.com/												
学習段階	発問と予想される子どもの反応等	指導上の留意点										
①差別や偏見の対象になっていた(いる)と思う病気を話し合う。	これらの病気の中に、差別や偏見の対象になっていた(いる)病気がいくつかあります。その病気をどれだと思えますか？ <table border="1"> <tr> <td>COVID</td> <td>COVID</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症</td> <td>肝炎</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>エイズ</td> </tr> <tr> <td>かぜ</td> <td>出血病</td> </tr> <tr> <td>心臓病</td> <td>ハンセン病</td> </tr> </table> 生活の場別 ・新型コロナウイルス感染症 ・エイズ ・ハンセン病	COVID	COVID	新型コロナウイルス感染症	肝炎	インフルエンザ	エイズ	かぜ	出血病	心臓病	ハンセン病	・知らない病気があってそこは詳解しない。 ・差別があると思うものに印をつけさせる。 ・学年で全員の名前を確認していく。
COVID	COVID											
新型コロナウイルス感染症	肝炎											
インフルエンザ	エイズ											
かぜ	出血病											
心臓病	ハンセン病											
②差別や偏見の対象になった病気の共通点を見つける	差別や偏見の対象になった病気には共通点があります。どんな共通点があると思えますか？ <table border="1"> <tr> <td>共通点</td> <td>感染症</td> </tr> </table>	共通点	感染症	・回答の中で新型コロナウイルス感染症、エイズ、ハンセン病を取り上げ、共通点を考えてみる。 ※COVIDは「感染病」についてはふれない。 ・ワークシートに感染症と記入させる。 ・めめてお出する。								
共通点	感染症											
③本時のめあてを知る。	どうやって差別や偏見が生まれるのかわからない場合はどうすればよいかを考えよう。	・ワークシートの「3」に言葉を記入させ、つづるということを手紙がかりにして、縦書きで差別や偏見を想像して比較する。										
④新型コロナウイルス感染症ではどんな差別が起こったかを出し合う。	「新型コロナウイルス感染症」が「悪者」しほじめてからいるいふ差別や偏見が生まれました。どんなことで差別や偏見をしたと思えますか？											

①不安	②その人を遠ざける	③差別偏見
① 肝臓の働き(代謝作用)(解毒作用)(胆汁(消化液)の生成・分泌) ② 肝炎ウイルス(B型やC型)の性質と感染について(簡易実験を通して) ③ 差別や偏見について	・病者についての正しい知識や理解がわからないと、人々は「不安」になり、自分を守るために「その人を遠ざけよう」とし、そのために行き過ぎた行動をしてしまうことで「差別や偏見」が起こることをおぼろげに。 ・肝炎の中でウイルス性の「B型肝炎」や「C型肝炎」が差別の対象になっていることを伝え、ウイルス性肝炎について説明する。	・病者についての正しい知識や理解がわからないと、人々は「不安」になり、自分を守るために「その人を遠ざけよう」とし、そのために行き過ぎた行動をしてしまうことで「差別や偏見」が起こることをおぼろげに。 ・肝炎の中でウイルス性の「B型肝炎」や「C型肝炎」が差別の対象になっていることを伝え、ウイルス性肝炎について説明する。
①ビデオ「考えよう感染症—家族の絆で繋ぐ未来—」を視聴して、娘の夫はなぜ差別をしたのかを考える。	娘の夫は、娘の誕生を喜びにしている病院に来た父に、なぜ差別的な発言をしたのでしょうか？	・ビデオは差別を受けた娘の父親が出る場面までを視聴し、娘の夫はなぜ差別的な発言をしたのかを考えてみる。 ・ビデオの後半を視聴し、正しく知らない大切な家族でも接する差別の根柢にも気づかせる。 ・ビデオの中のマネージャーのように言葉を注して理解できるように話を進めさせる。
②ビデオ「考えよう感染症—一本道のフインプレー—」を視聴する。	マネージャーは手袋をして怪我の手当をしたのはなぜでしょう？	・C型肝炎のことを知らなかったから ・肝炎ウイルスがだっこ(皮膚の接触)でうつると間違っていて理解していたから
③本時の学習のふりかえりを言う。	今日の学習をふりかえり、わかったことや感想を言きましょう。	・ウイルスは血液で感染することを知っていたから ・人の血液や体液はウイルスにかかわらず勝手にさわらないことを知っていたから
④「合い言葉」を全員で言う。	合い言葉をみんなで言ひましょう！ 「あなたはどうする？」	・教員に発表させる。 ・正しい理解や行動を立ち止まって考えるために、「あなたはどうする？」を合い言葉にしていくことを呼びかける。

【肝炎患者のおかれた状況について考える】ワークショップ 〈テーマ：中学生向け肝炎授業について〉 を令和7年8月24日（日）に東京で開催



【肝炎患者のおかれた状況について考える】ワークショップ 〈テーマ：中学生向け肝炎授業について〉 を令和7年8月24日（日）に東京で開催

参加者から寄せられた感想

中学生向けに「差別や偏見をなくすためにはどうすればよいか」を考える目的で、副島先生による模擬授業を実施しました。生徒役として15名が参加しています。

- 授業では、感染症に対する差別や偏見がなぜ起きるのか、なぜ感染者を遠ざけてしまうのかを掘り下げ、それらが「不安」からくる行動であることを学びました。
- その不安を取り除くには、正しい知識を得ることが不可欠です。「では、あなたならどうするか？」と問いかける展開で授業が進められました。
- 参加者からは「今日学んだことを友人に伝えたい」といった前向きな感想が聞かれました。
- 副島先生が脚本、演出、役者、小道具まで一人何役もこなされた授業は、深い余韻の残る「肝炎授業」となりました。
- 単に知識を伝えるだけでなく、生徒自らに考えさせ、行動変容を促すための緻密な構成に感服いたしました。
- 「授業とはいかに奥が深いものか」を改めて実感させられる機会となりました。

【肝炎患者のおかれた状況について考える】ワークショップ 〈テーマ：中学生から大学生向け肝炎授業について〉

を令和 8年2月15日（日）に佐賀市で開催

指導案と授業：元小学校教員：副島健生



【肝炎患者のおかれた状況について考える】ワークショップ 〈テーマ：中学生から大学生向け肝炎授業について〉

を令和 8年2月15日（日）に佐賀市で開催

指導案と授業：元小学校教員：副島健生



【肝炎患者のおかれた状況について考える】ワークショップ 〈テーマ：中学生から大学生向け肝炎授業について〉

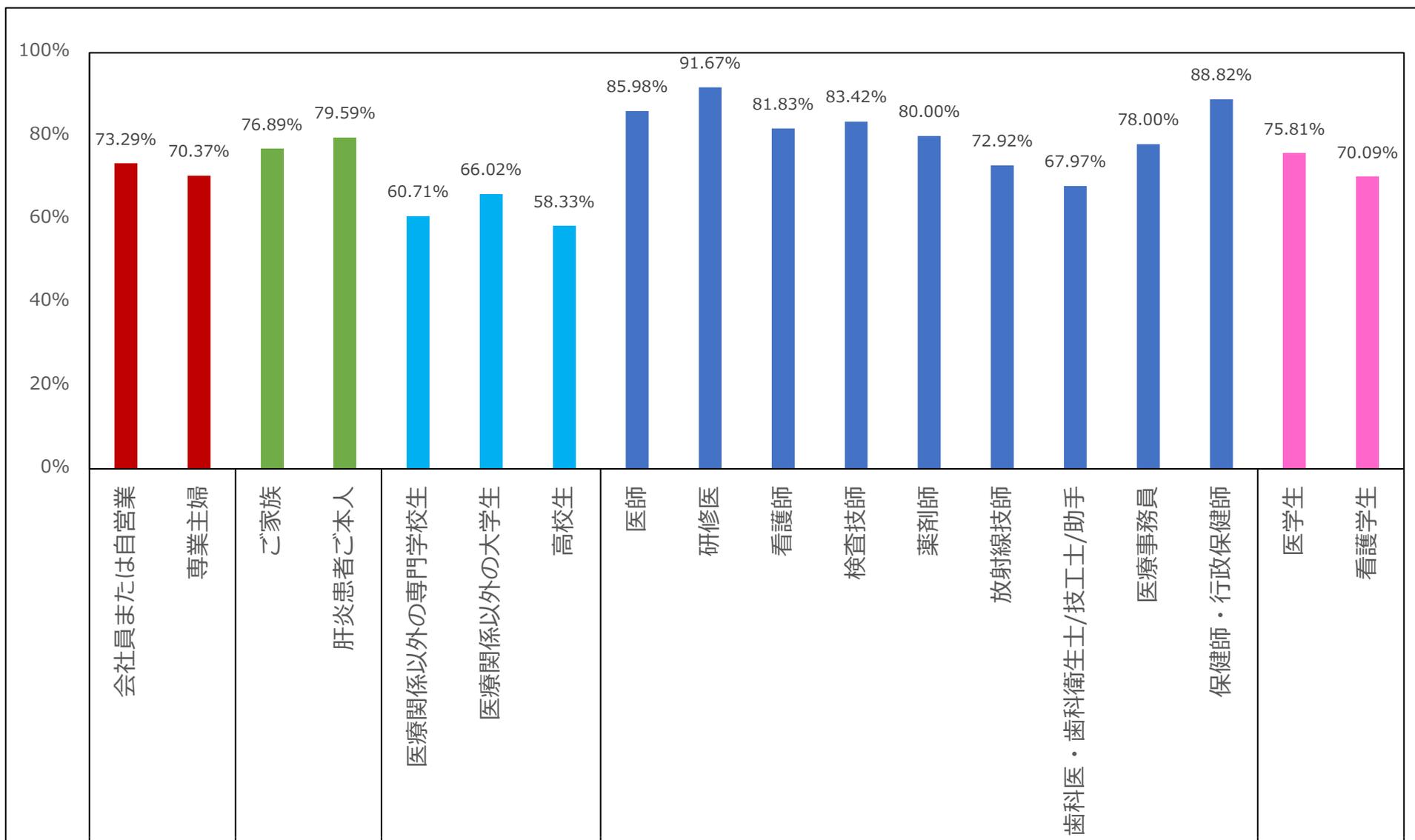
を令和 8年2月15日（日）に佐賀市で開催

指導案と授業：元小学校教員：副島健生



理解度クイズ 職業別正解率 (N = 1893)

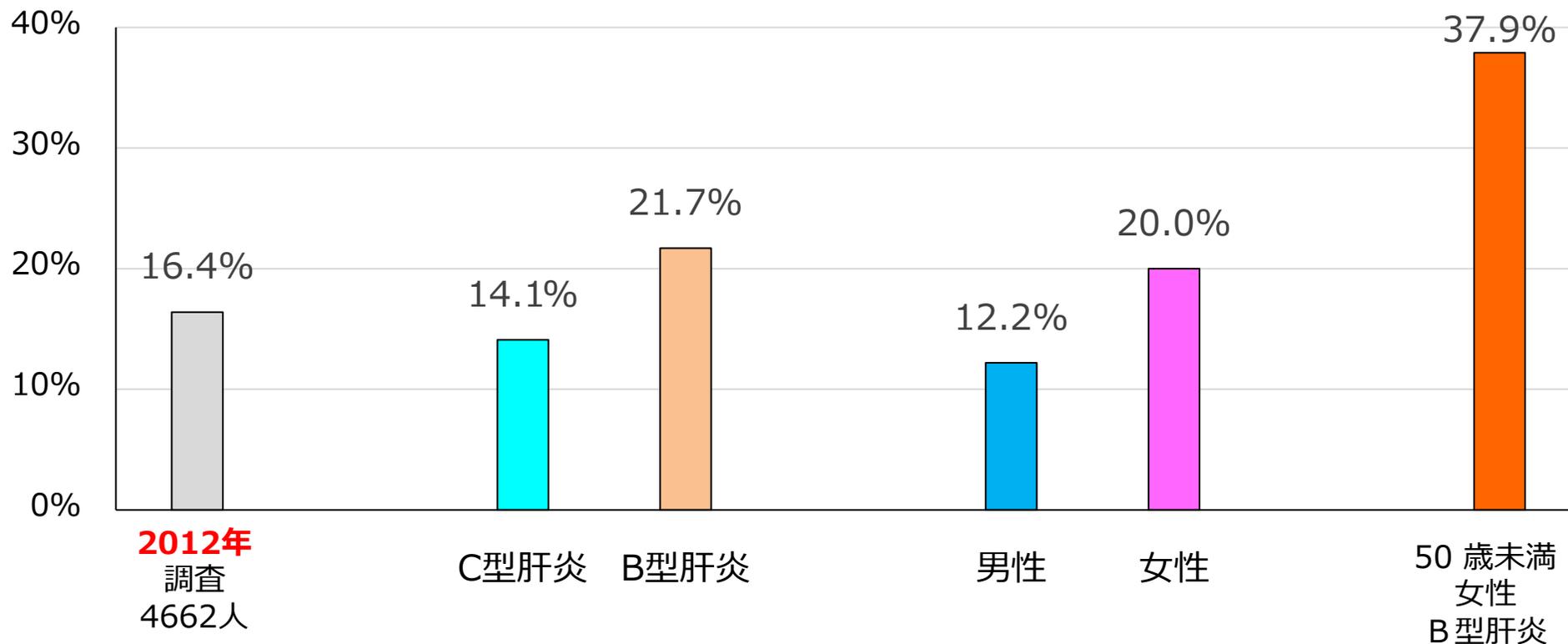
調査期間：2021年8月2日～2025年12



差別偏見の頻度 B型肝炎/C型肝炎患者

調査人数：2012年調査4662人

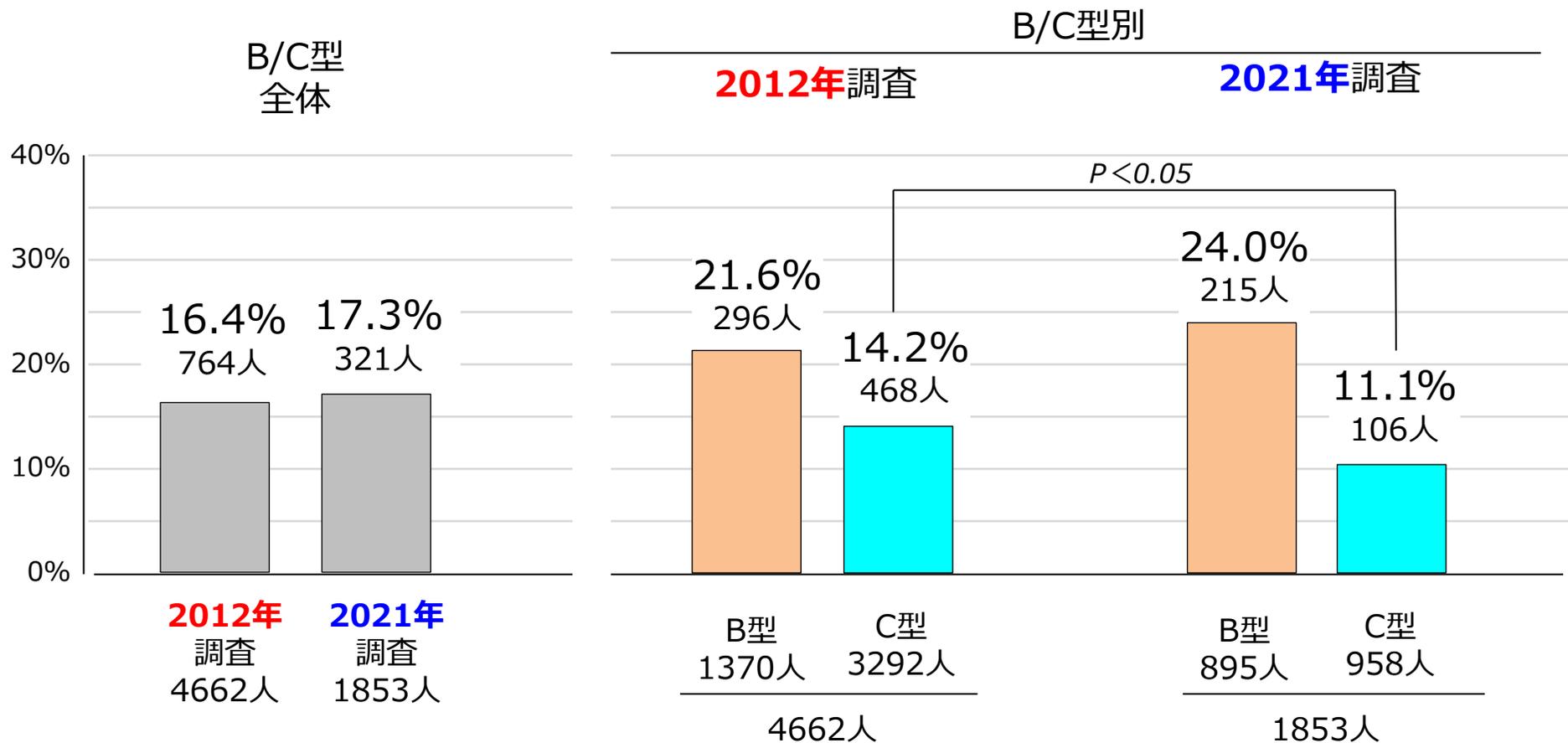
「ウイルス肝炎の方にお尋ねします。肝炎に感染していることで、差別を受けるなど嫌な思いをしたことがありますか」の頻度



差別偏見の頻度 B型肝炎/C型肝炎患者

調査人数：2012年調査4662人 2021年調査1853人

「ウイルス肝炎の方にお尋ねします。肝炎に感染していることで、差別を受けるなど嫌な思いをしたことがありますか」の頻度

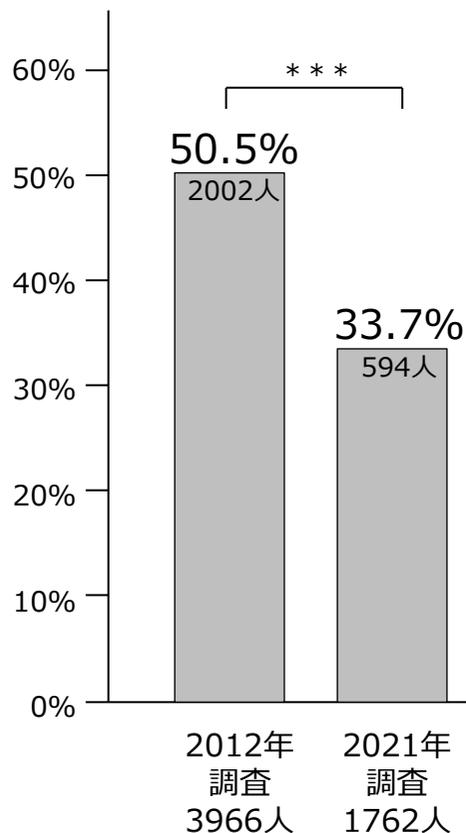


「悩みやストレスがある」の頻度 B型肝炎/C型肝炎患者

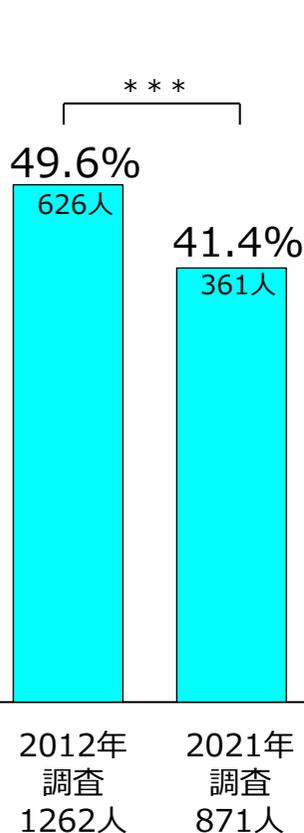
調査人数：2012年調査4662人 2021年調査1853人

*** P<0.001

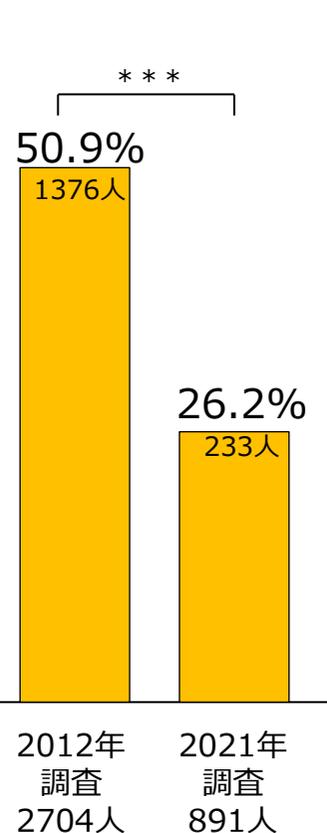
B/C型全体



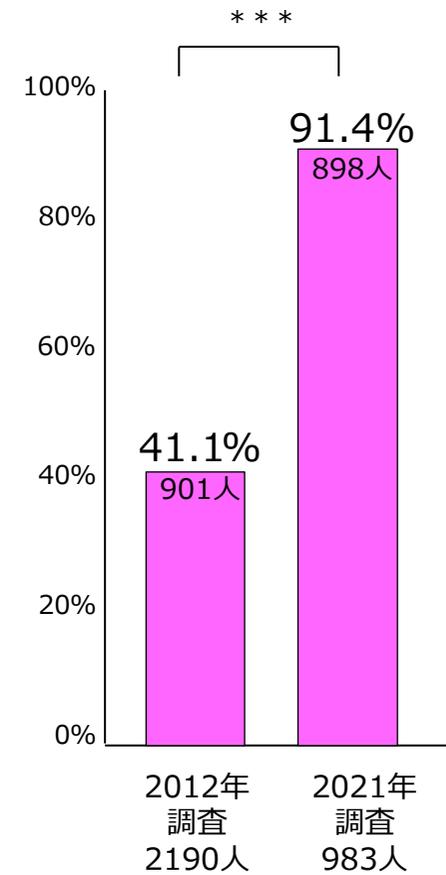
B型肝炎



C型肝炎



C型肝炎のSVR率



ホームページ公開中 の 啓発教材動画

R7年度は
第5弾
(前編、後編)
を

作成して公開した

啓発教材動画「考えよう 感染ること」

第5弾 君と一緒にいるために 前編



第5弾 君と一緒にいるために 後編



第4弾 思い込みの罠



第3弾 家族の絆で繋ぐ未来



第2弾 本当のファインプレー



第1弾 先生の告白



第5弾 前編

考えよう
感染すること

君と一緒に
いるために





第5弾 後編

考えよう 感染すること

君と一緒に いるために



「こころまもり」の試作

ウイルス性肝炎
スティグマに悩む患者さんの心を守る「こころまもり」

不安

安心

病気をうつすかも...

先生の言葉を思い出して安心できる！

こころまもり

感染条件が見て分かる形

感染を防ぐ絆創膏ケース

不安になった時はこれを見て
感染条件を確認してくださいね。
簡単にはうつらないことがわかりますよ！

出血した時はこれで手当してくださいね！

肝炎対策基本指針

肝炎対策基本指針において、ウイルス性肝炎患者等に対する偏見や差別を解消するためには、肝炎についての正しい知識を普及し、ウイルス性肝炎患者等の人権を尊重するためにはどのようにふるまうべきかを考え、学ぶことが重要であるとされている。

法務省：人権教育・啓発に関する基本計画（第二次）

2025年6月6日閣議決定

<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00316.html>

人権教育・啓発に関する基本計画（第二次）の45と46ページ肝炎について記載。

(イ) 肝炎ウイルス感染者等

肝炎は、肝臓の細胞が傷つけられ、その働きが損なわれる病気であり、肝炎患者の多くはB型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスに起因するものである。

これらの肝炎ウイルスは、主に血液や体液を介して感染するものであり、肝炎ウイルスの感染を予防するためには、血液や体液が付いた器具を共用しないこと、血液や体液が傷・粘膜に直接接触れるのを防ぐこと等が重要であるが、これら以外の普段の生活の中において、B型肝炎やC型肝炎に感染することはない。

しかし、肝炎ウイルスに関するこのような理解が十分ではなく、依然、偏見や差別に苦しんでいる患者も少なくない。感染者や患者に対する偏見や差別を解消するためには、幅広い世代を対象に肝炎についての正しい知識の普及を前提に、感染症の患者等に対する偏見や差別の歴史も踏まえ、肝炎患者等の人権を尊重するためにはどのように振る舞うべきかを考え、学ぶことが重要である。

「中略」 こうした動向等を踏まえ、肝炎ウイルス感染者等に関する人権教育・啓発においては、次の取組を積極的に推進する。

① 肝炎に関する啓発資料の作成・配布、各種の広報活動、「日本肝炎デ 66 平成21年法律第97号 67 平成28年6月30日厚生労働省告示第278号 46 ー」の開催等を通じて、肝炎についての正しい知識の普及を図ることにより、肝炎ウイルス感染者等に対する偏見や差別意識を解消し、肝炎及びその感染者等への理解を深めるための啓発活動を推進する。（法務省、厚生労働省）

② 集団予防接種によるB型肝炎ウイルスの感染拡大の経緯・歴史等を学び、肝炎ウイルス感染者・患者に対する偏見・差別をなくすことを目的として、副読本「B型肝炎いのちの教育」を全国の中学3年生の教員向けに配布・周知する。あわせて、全国B型肝炎訴訟原告団・弁護団が本副読本を用いて実施している「患者講義（集団予防接種によりB型肝炎に感染した患者等を講師として派遣し被害者の声を伝える活動）」について、全国の中学校に周知する。（文部科学省、厚生労働省）

③ **感染症患者に対する偏見・差別や人権をテーマとした調査研究事業を行い、研究の成果を踏まえた上で、肝炎患者等に対する偏見・差別の解消に向けた取組を推進する。（厚生労働省）**



調査研究事業において、肝炎患者等からの相談事例の分析を行うとともに、肝炎患者等の置かれた状況について考えるシンポジウムの開催や、感染症患者に対する偏見差別・人権をテーマとした模擬授業を行い、調査研究の成果普及に努めている。

名古屋市東生涯学習センター主催 【公開講座のご案内】

【人権問題特別講演会】

一人一人が尊重される社会に向けて

～肝炎ウイルス感染者等に関わる人権問題から考える～

肝炎ウイルスを知っていますか？ 現在、肝炎ウイルスに対する理解が十分ではないために、肝炎ウイルス感染者等に対する差別が起きてしまっています。本講演会では、肝炎ウイルス感染症に対する偏見や差別の解消に向けて活動している講師から、偏見や差別の実態や当事者の思いなどについて話を聞きます。偏見や差別の解消に向けてわたしたちに何ができるかを考える機会にしてみませんか。

【開催日時】

2026年2月1日（日曜日）
午前10時から正午まで（10:00～12:00）

【演題】

《人権問題特別講演会》
一人一人が尊重される社会に向けて
～肝炎ウイルス感染者等に関わる人権問題から考える～

【講師】

独立行政法人 国立病院機構長崎医療センター
名誉院長 八橋 弘



【会場】

東生涯学習センター2階 視聴覚室

- 事前申込不要。どなたでも無料で参加できます。
- 定員55人。午前9時30分から入場できますが、定員を超えた時点で、入場できませんので、予めご了承ください。
- 公開講座は、多くの方民の方に幅広い学びのきっかけとなるように、無料で受講できるものです。

問合せ先：名古屋市東生涯学習センター

〒461-0004 名古屋市東区葵1丁目3-21 TEL:052-932-4881

《アクセス：地下鉄東山線新栄町下車、1番・2番出口から北へ300m徒歩約4分
桜通線高岳・車道下車徒歩約10分 芸術創造センター東隣り》

2026年2月1日
名古屋市東生涯学習センター主催

人権問題公開講座

肝炎ウイルス感染者への偏見や差別を減らす為に必要なこと

1. 偏見や差別の実態を明らかにする
2. 肝炎ウイルスの感染経路、感染性について正しく理解する
3. 偏見や差別を減らす為に必要な仕組みを共に考え、実現化する

肝炎ウイルス感染者への偏見や差別に関する課題にどう対応し、残された課題は何か

対応： 1. ホームページの作成更新、 2. 公開シンポジウム、 3. 肝炎授業、
4. 啓発教材（動画、おまもり）など

啓発活動の対象者：

1. 医療従事者（肝炎Co）、 2. 教育現場の教師と生徒、 3. 一般市民、 4 患者

残された課題： 肝炎患者等の人権を尊重するために、どのように振る舞うべきかを考え、学ぶ機会を増やす必要がある。本研究事業の本質は「**対象者への適切な啓発の浸透**」と、それに続く「**具体的な行動変容**」にある。

今後の課題として、単なる情報提供に留まらず、行動変容を促すための効果的なアプローチの検討とともに、その効果を多角的に評価・モニタリングする手法（既存のアンケート調査に加え、ウェブ解析や経時的な意識調査の精緻化など）の確立を目指す。